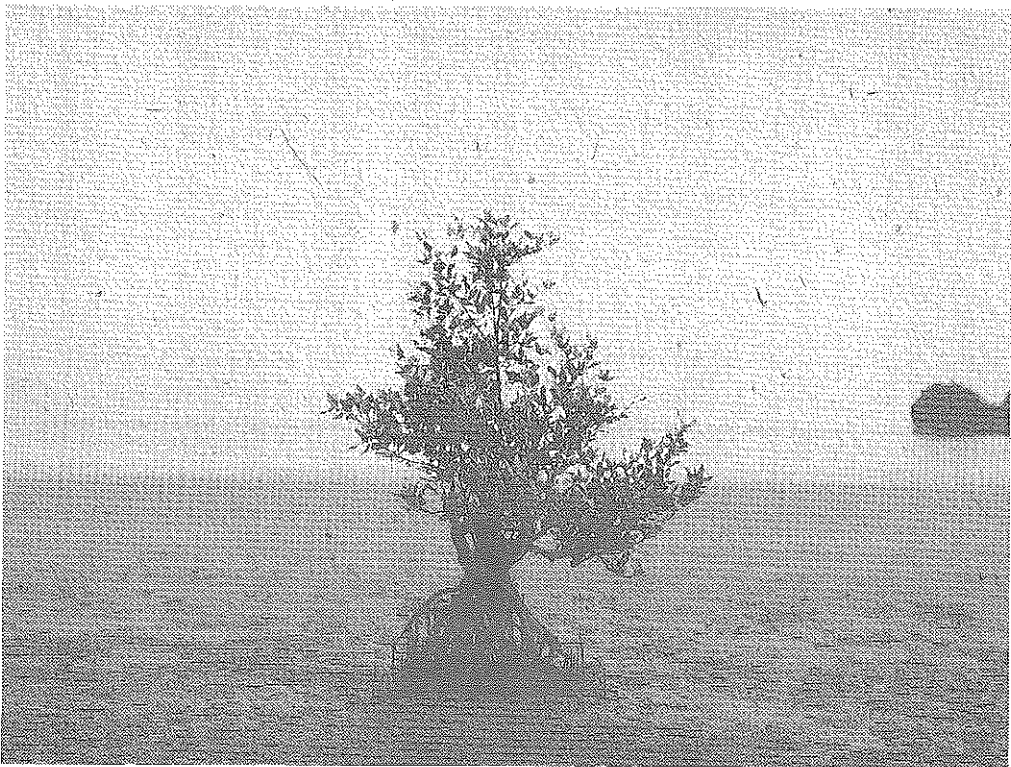


Save The Tropical Forests



森の通信

2004.6.29



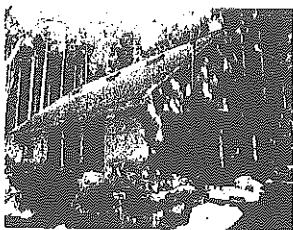
▲ バコ国立公園のマングローブの木 (2003.9月 / photo 佐久岡)

CONTENTS

- 「違法材、ラミン材停止企業キャンペーン」③ 中間報告 …… 3P
- ホルネオ島に行く ⑦ …… 10P
- 連載 「kini nuan? (その1)」 佐久岡 香子 …… 12P
- 世界の森林ニュース …… 17P
- 「1577人質事件」で思うこと。 午田 箕 …… 18P

## 森と暮らすどんぐり倶楽部のお知らせ (午田)

前号(71号)に記事が載った“どんぐり倶楽部”には、色々な体験コースがあります。ご紹介しまひよ。



### 体験コース (要予約)

- 森の学校
- 森の散策・案内
- ネーチャークラフト
- つる細工
- 山野草の寄せ植え
- キャンプ (五右衛門風呂入浴有り)
- 山菜採り (季節限定)
- バーベキュー



このロッジ風の建物が喫茶のお店。このお店は国産材で建てられたのだ。

<連絡はこちらへ>

喫茶 ☐ コーヒー  
軽食

〒919-1144

福井県三方郡美浜町新庄182-1-1

TEL・FAX 0770-32-3330

ホームページ  
\*HPあります\*  
「森と暮らすどんぐり倶楽部」  
で検索して下さい。すぐ出ます。

### 《ウーダン活動報告》・大半が【ラミン材使用停止企業キャンペーン】でゴメン!

- 2004・3・9 全部道府県への【「違法材、特にラミン材ぼうき・モップの使用停止への依頼と質問」評価と違法材対策への提案】並びに【燃帯材不使用へ! 選挙板キャンペーン全国】について、記者会見。
- 3・16 ウーダン、ラミン調査会合同会議【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】へ企業調査の最終調整。
- 3・21 ラミン材使用企業 240社判明、取引先約3割判明。不明分調査一部JATAN 訪問、名古屋等に協力依頼。
- 3・30 通信「ウーダン」71号発送。
- 3・31 【燃帯材不使用へ! 選挙板キャンペーン全国】で5主要都市からウーダンへ回答あり、全国主要都市8.5%が燃帯材から再生材等へ転換。
- 4・9 ウーダン、政府へ【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】を4月から本格実施と連絡。
- 4・10 ウーダン・ラミン調査会合同会議、【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】の停止依頼項目検討。
- 4・15 「アースデイおおさか」最終会議に参加。\*西岡
- 4・18 大阪府民環境会議 NPO 法人設立総会・集会に参加/講師・北川正恭(前三重県知事)氏ら。
- 4・20 ウーダンとラミン調査会、【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】177社へ第1回発送。
- 4・25 「アースデイおおさか」地球にピース! 輝け未来! 集会へ参加。\*西岡、井下、藤村ら
- 4・27 ラミン使用企業は約300社判明、取引先小売店含めて約1000社(?)で、5月に再発送決める。
- 5・4 ウーダンとラミン調査会、【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】第2回目60社へ発送。
- 5・6 【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】第1回締切回答分25社から回答あり。
- 5・8~ ウーダン、【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】第1回目の未回答企業70社へFaxで再依頼。
- 5・11 ウーダンとラミン調査会合同会議、【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】40社から回答を報告。
- 5・12 【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】第3回目発送、政府へ1回目報告。
- 5・14,15 【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】第4回目発送。
- 5・20 【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】第2回発送の締切日。60社から回答あり。
- 5・24 政府へ【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】内容を2回目報告。第3回目回答締切日。
- 5・25 ウーダンとラミン調査会合同会議、【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】70社から回答あり。回答企業の9割が【停止する】、【停止済】と。第1目標得る。使用350社判明分で、285社へ送付決定。
- 5・28 【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】第5回目最終分発送、285社全て発送。回答期限6月4日。
- 6・3 【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】、91社が回答。80社【9割停止】。
- 6・5, 6 【違法材・ラミン材使用停止企業キャンペーン】、1-4回目発送未回答企業へFax再依頼。回答締切6月10日。

6/15 現在

## 《やれば出来る！違法材停止・違法材貿易停止》③(中間報告)

### 『違法材・ラミン材停止企業キャンペーン』開始、108社回答・停止答約9割

—環境考慮し良識ある企業が増えた！すばらしい！—どのNGOも未実施！100社停止へ

2004年6月 ウータン・森と生活を考える会・事務局長・西岡良夫

#### 1、ウータン、ラミン調査会で【違法材停止を】、全国都道府県 85%が【停止・検討】と変化

私たち、ウータン・森と生活を考える会は、1988年から熱帯林破壊停止へ行動をしてきた。熱帯材削減を多くの各自治体に依頼し、200自治体が熱帯材削減策を実施することになった。1999年から違法材問題を取り上げ、2000年のG8サミットなどで当時の農林水産大臣や橋本元首相に会い、【違法材・違法貿易】を止めるように政府へ依頼する行動を起こした。

今回問題としたラミンはマレーシア・サラワク州で1980年伐採禁止され、インドネシアでは国立公園等で違法伐採され、2001年にインドネシア産がワシントン条約に指定され、インドネシア政府の許可書がなければ輸出できないのだ(インドネシア内許可1社、生産量1%弱)。

ウータンとラミン調査会は、まず全国都道府県、主要自治体にラミン材使用停止と違法材停止を2003年4月と12月に依頼。大半の自治体から1年半前に比べ、【停止】と回答を頂いた。

#### 2、285社に【違法材ラミン材・企業の使用停止キャンペーン】依頼開始、成功だ！

多くのNGOの申入れや日本政府の努力で、昨年6月、【違法伐採及び違法に伐採された木材と木製品の国際貿易に取組むための協力に関する日本とインドネシア政府との間の共同発表、アクションプラン】が合意され、違法材・違法貿易をなくす取組みが始まっている。だが、違法材・密輸材のラミンを、マレーシア等の業者は「マレーシア産といえれば問題ない」と違法貿易を続け、今年2月環境団体インドネシアのTelapakや英国・米国の環境団体EIAが告発した。

日本でラミン材は、工作用丸棒だけでなく、写真フレーム、額、鏡やガラスケースの枠、ペーパーベッドやベッドの一部、椅子や机の一部、箒やモップの柄・先、ドアの一部、カーテンレール、窓枠、下枠、床板や手摺の一部、果ては蕎麦打ち棒、携帯用ブラシの柄に使用されている。

日本では6社がラミン材使用を転換したが、依然として300社以上(5月中旬、現在 350社判明・千社以上取引?)が未だにラミン材を使用しているので、4月からラミン調査会と合同で、取引・製造・販売の各企業に【ラミン材停止依頼】を求めた。発送依頼総数は285社。

これは、私たちの全国の企業へ違法材停止に向けての第1弾の行動である。

主なラミン材使用企業は、西沢材木店、大建工業、伊藤忠建材、三井物産、丸紅建材、ノダ、フジケン、東集、ミハシ、斎藤木材、北三、北材商事、光モール、イヌイ建材、鈴木商店、川合木工所、ウエノ等木材企業・輸入行。丸棒・角材販売のホームセンターのコーナン、カーマ、ナフコ、ケーヨー、カインズ、コメリ、エンチョー、ダイキ、東急ハンズ等。写真・額の大仙、イワタ、フジカラーイメージング、ハクバ写真産業、近江写真用具、ラーソンジュエル等。鏡・ガラスケースの塩川光明堂、ベッドのコスガ、カトージ、山新等、カーテンのトーソー、ヨコタ等、箒・モップのアズマ工業、JAL、ANA、ユニー、イオングループ、各百貨店、千趣会等の店頭販売、通販など(回答別表)だ。ラミン材は雨晒しにすれば傷みがひどく、製材品での輸入が大半。主な輸入港は東京、清水、豊橋、大阪、徳島。

昨年11月、インドネシアで違法伐採による多数の死傷者が出て、来日の Telapak と「これ以上死傷者等被害は困る」と話し合い、帰国前日に私達は【ラミン材停止企業キャンペーン実施】を約束した。

### 3、回答企業約9割が【停止】と表明(停止80社/6月2日)、環境配慮の企業が増加！

当初問題としたのは約100社で、特に問題の36社中24社が回答(67%)。残りは西沢木材店(意味不明回答有)、ホームセンターのコーナン、カーマ、カインズ、ホームマック、東急ハンズ、フジカラー、千趣会、材木店のイヌイ建材、ミハシ、川合木工所、北材商事、そしてイオングループのみだ。

6月2日現在、【停止する】と回答の主な企業は、伊藤忠建材、大建工業、フジケン、大仙、イワタ、ハクバ写真産業、ラーソングジュール、やのまん、近江写真用具、HCのドイト、ナフコ、エンチャー、ロイヤルホームセンター、トソー、JAL、ANA、石崎家具、塩川光明堂、トミサカ画材、高島屋等。

285社のうち91社から回答が寄せられ、回答の約9割、80社が《即停止》、《停止転換》、《扱いを止め》、《既に扱ってない》という内容だ。第1段階の【ラミン材停止企業キャンペーン】は成功！

ただ4社(西沢材木店、綾野製作所、ラボネット、ゴトーキン)は「意味不明・受取り拒否」で、3社(ユニマテック、浅香工業、HCグッティ)が「継続販売」、2社は「停止へ検討」、2百貨店が回答内容不明。

今回私たちの行動で、ラミン材問題の未認識の企業はこの機会に【停止】との回答が大半だった。

当初の目標は、最低でも何とか「70社の回答」を目指し、第2段階として「90社の回答」を得る。第3段階は夏までに「100社の停止」を望んでいた。予想より多くの企業が回答を寄せてくれ、【停止】するとの回答が約9割になり、中間報告として大変うれしい。この成果は徳島、名古屋、静岡、東京の仲間力にもよるものだ。今後も回答が増えると思われ、ラミン材停止へ大前進できる！

私たちが最初にラミン材の量販店を知ったのは、Telapakの1回日来日の際だ。彼らと一緒に和歌山・西沢材木店に電話。同社長は「大半がインドネシア産で、よく行く」とのことが発端だった。

ラミン調査会中心に企業調査を始め、キャンペーンはウータン中心と決定。昨年未約100社が判明。その後ウータンも調査し3月末約270社が判明。再調査で取引・使用企業は350社が判明した。

ウータン、ラミン調査会で4月20日に177社に【違法材・ラミン材停止依頼】を送付。5月に108社、計285社に【停止依頼】と【質問状】を送付する。突然の【停止依頼】に戸惑った企業の社長などは、「いつ、どこで、どのように調べたか」、「輸入業の調査を」、「代替材、今後の見通し」を聞いてきた。

80社停止しても継続して【ラミン材停止キャンペーン】がまだ必要だ。今回大手や製造・卸売、直接取引企業の多くが、【停止】と回答してきたのは環境に配慮する企業が増えた証拠で、今後小売店等へ【違法材停止の力】となる。年内にかなりラミン材が日本で減り、来年には【完全停止】できるよう、他NGOや政府、企業と協力していきたい。私達は、被害をなくすため【完全停止】まで努力する。

《やれば出来る！違法材・違法貿易の停止》！！「努力するかどうかの問題だ」。やろうと思えば出来る事例として示している。【いつでも夢を】持ち、問題対処にむけて努力していきたい。

### 4、違法材・違法貿易停止キャンペーンの【中間報告・評価】

《やれば出来る！違法材・違法貿易停止キャンペーン》は、大きな成果をもたらし始めている。

ウータン、ラミン調査会、他NGO仲間、インドネシア環境団体 Telapak、WALHI、日本政府や各自治体が、共同して国際的な違法貿易の停止に向けて取組めるものになろうとしている。そして今回、【停止】の取組み・決断をされた自治体や企業の行動は、未来の環境保全に向けて大きな前進の力になるものと言えよう。やれば出来るんや！！



# ラミン材製造・取引企業は停止か継続か？ 集計の概要(総数285社)

停止9割、91社回答(回答他1社あり、社名・No記載無判明できず) 2004年6月2日現在

(独断の評価―― ◎停止!すばらしい ○頑張った ▲まだ難あり頑張ろう? 不明 ×問題会社)

企業名	扱い品	扱う・扱ってない	停止・継続?	違法対策認知	仕入先/原産地	独断評価
西沢材木(製造元)	(丸棒、箒等)	英文記事のみ	日本語回答無	(「ラミンは任せて」記載のHP消す)		×販売継続?
大建工業(販売元)	角材等	扱う	停止(04年7月)	知る	西沢材木店/マレーシア	◎即停止
伊藤忠建材(販売)	丸棒等	扱いを止め	—	知る	—	◎効果大
ニチペイ(商社販売)	ラミン材	(扱う) —	在庫無で停止(05年)	知る	マレーシアMインテリア社	○
紅中(販売元)	丸棒等	扱ってない	—(停止だ)	知る	—(以前取引資料確認)	○
フジケン(販売元)	丸棒、下枠等	扱いを止め	停止・実施中	知らなかった	—	◎停止実行
(以上輸入木材社等)						
ユニマテック	丸棒等(販売元)	扱う	継続販売	知らなかった	トレドウイング/マレーシ	×売り続け
サンワ	丸棒等(販売元)	扱う	停止実施(04年)	知らない/アジアトレーディング・マレーシ		◎停止実行
三輪	丸棒等(販売元)	扱ってない	—	—	—	○
清水	丸棒(販売元)	扱う	在庫無で停止	知る	—/マレーシア	○
松永開発	丸棒(販売元)	扱う	停止等検討	知らなかった	トッパンコスモ	○
和以美(販売)	丸棒、工作材	扱う	在庫無で停止	知らなかった	東和木産・川合/マレーシ	○
ジャンボ	丸棒等(販売元)	扱いを止め	—(停止だ)	—	—	○
南海プライウッド	—	扱ってない	—	ラミン周知済	—	◎効果大
シーアイウッド	—	扱ってない	—	知る	—	○
片岡材木店	原木等	扱ってない	—	—	(HPで今もラミンPR)	?
下基商店	丸棒(販売元)	扱う	在庫無で停止	知らなかった	—/聞いてない	○
いはな工業	—	扱いなし	—	—	—/聞いてない	○
(以上丸棒等販売元)						
ラーソングール	モルディング	扱いを止め	停止転換	知らなかった	—/インドネシア	◎効果大
大仙(製造・販売元)	枠、写真frame	扱いを止め	停止(02年4月)	知る	(Pt.Daisen/インドネシ	○
イワタ(製造・販売元)	枠、写真frame	扱ってない	(停止確認、当初回答拒否)	—	(Pt.Iwata/インドネシア)	▲一旦拒否
やのまん(製造)	写真フレーム	扱いを止め	停止済(2年前)	知らなかった	—(pt.Daisen)	○
ハクバ写真産業	写真フレーム	扱いを止め	停止(転換済)	知る	Pt.daisen大仙(インドネシ	○
ラボネットワーク	写真フレーム	扱いなし	—(当社無関係)	(同社HP、ハクバのウエールズ・ラミン記載)		×ウソ記載
近江写真用具	写真フレーム	扱い無	停止	(HPカタログ・ラミンウッドframe04年記載)		○
アルナ(製造)	写真フレーム	扱いなし	—	知らなかった	—	○
トゥールズ(販売)	写真フレーム	扱う	停止	知らなかった	遠山木工所/マレーシア	◎即停止
光モール(製造元)	モルディング	扱いを止め	在庫無で停止	知らなかった	(ウエノ等、需確認)	○
(以上写真フレーム、モルディング製造・販売)						

## (独断偏見・丸棒もラバーウッドや植林木ホワイトパイン材へ)

No.2

企業名	扱い品	扱う・扱ってない	停止・継続?	違法対策認知	仕入先/原産地	独断評価
Royalホームセンター	丸棒販売	扱う	停止(04年9月)	知る	-/マレーシア	◎効果大
ナフコ(HC)	丸棒	扱う	停止(今秋に)	-	小浜製材所/マレーシア	◎効果大
エンチャー(HC)	丸棒	扱う	停止(04年9月)	知る	自社/マレーシア	◎効果大
ケーヨー(HC)	丸棒	扱う	転換検討	知る	ジュテック/マレーシア	○
ジョイフル本田(H)	丸棒等	扱う	在庫無で停止	知らなかった	ジュテック	○
パロー(HC)	丸棒等	扱う	在庫無で停止	知らなかった	ジュテック/マレーシア	○
アクト(HC)	丸棒	扱う	在庫無で停止	知らなかった	ジュテック	○
アークランドサカモト	丸棒	扱いを止めた	在庫無で停止	-	-聞いてない	○
ジュンテンドー(H)	丸棒等	扱う	停止	知らなかった	ウエノ/聞いてない	◎効果大
ゴトーキン(HC)	丸棒	扱う(他材検討)	代替で変更	知らなかった	ウエノ/聞いてない	▲もう一息
ドイト(HC)	丸棒, ドレンパイ	扱う	転換(年内)	知る	ユニマテック/マレーシア	○
ピーバードサン(H)	丸棒, モップ	扱う	在庫無で停止	知る	ユニマテック等/マレーシア	○
ハーツマルハラ(HC)	丸棒等	扱う	在庫無で停止	知る	ユニマテック/聞いてない	○
マツモトキヨシ(HC)	丸棒	扱う	停止(年内)	知らなかった	ユニマテック/マレーシア	○
サンワドー(HC)	丸棒等	扱う	停止・転換	知らなかった	サンワ/マレーシア	○
片倉工業(HC)	丸棒	扱いを止め	在庫無で停止	知らなかった	サンワ/聞いてない	○
HCヤマモク	丸棒	扱いを止め	HC停止済	知らなかった	以前、サンワ	◎即停止
イオン九州(Hワイ)	丸棒等	扱う	停止(04年8月)	知る	丸紅木材/マレーシア	◎効果大
嘉徳無縁(グッティ)	丸棒等	扱う(他材検討)	今は継続販売	知らなかった	福岡興産/マレーシア	▲もう一息
サンデー(HC)	丸棒等	扱う	停止(早急に)	知らなかった	川合木工所	◎即停止
旭興業JoyHC	丸棒等	扱う	停止	知らなかった	イスイ建材	○
ユーホー(HC)	丸棒等	扱う	停止(04年8月)	知らなかった	松永開発/聞いてない	◎即停止
菅文(HC)	丸棒等	扱いを止め	(停止という事)	知らなかった	ジャンボ等/聞いてない	○
オージョイフル(H)	丸棒等	扱う	即停止	知らなかった	清水/マレーシア	◎即停止
ムラウチホビー(H)	丸棒等	扱う	在庫無で停止	知らなかった	西沢材木店	○
(以上ホームセンター)						
コスガ(製造)	Babyベッド	扱う	停止等検討中	知る	-マレーシア	○
石崎家具(製造)	ベビーベッド	扱いを止め	在庫無で停止	知る	-	○
澤田工業(製造)	ベビーベッド	扱う	在庫無で停止	知らなかった	-マレーシア	◎在庫量小
野本工業	Babybed販売	扱う	在庫無で停止	知る	石崎家具/インドネシア	○
山新(製造)	ベッド	扱う(秋に停止)	在庫無で停止	知らなかった	-	○
綾野製作所(製造)	(ベッド)		受取拒否返送	(大阪の家具店で販売確認)		×経営で
ベピーツーワン	Babybed販売	扱う	停止	知らなかった	ヤマサキ/聞いてない	○
森下和洋家具	ベッド販売	扱ってない	(停止という事)	知らなかった	(HPで04年ラミン記載)	▲ウソ記載
伊勢丹	Babybed販売	扱ってない	-	知らなかった	(コスガ等販売密確認)	▲未認識

企業名	扱い品	扱う・扱ってない	停止・継続?	違法対策認知	仕入先/原産地	独断評価
高島屋百貨店	Babybed販売	扱う	違法時停止	知らなかった	カリモク、コスガ/マレーシア	○
丸井今井	Babybed販売	扱う	違法時停止	知らなかった	コスガ/マレーシア	○
天満屋	Babybed販売	扱ってない	—	知らなかった	(カートージ等電確認)	▲未認識
(以上Babybed, ベッド)						
塩川光明堂(製造)	鏡ガラスケース製造	扱う	(停止してもら)	知る(追)見本後転換、mail確認別注可	—	×ウソ記載
アスワン(販売元)	写真frame、鏡	扱ってない	(停止という事)	知る	—(HP04年ラミン記載有)	▲ウソ記載
R-スペース	鏡通販等	扱う	在庫無で停止	知らなかった	(塩川光明堂)/聞いてない	▲もう一息
ネットパレー	鏡販売	扱う	在庫無で停止	知らなかった	塩川光明堂/イタリア等	○
ウエーブ家具	ガラスケース	扱いを止め	停止済	知らなかった	塩川光明堂/聞いてない	◎即停止
アート館	額、ガラスケース	扱いを止め	(停止という事)	知らなかった	—(塩川光明堂)	○
額縁のやまもと	額	扱う	(停止意思・転換)*	—	—	○
(以上鏡、ガラスケース)						
トミサカ画材(販売)	イーゼル	扱う(一部変)	在庫無で停止	知る/アジアトレーディング・インドネシ	—	○
岡田絵具店	イーゼル販売	扱う(製造社中止で販売停止)	—	知る	—	▲もう一息
ミヤモト額縁	イーゼル、額縁	扱いを止め	在庫無で停止	知らなかった	トミサカ画材/聞いてない	○
村田家具	イーゼル販売	扱いなし	(停止という事)	(HPで04年扱い記載有)	—	▲ウソ記載
(以上イーゼル)						
トソー(製造元)	カーテンレール	扱いなし	(停止済と別紙)	知らなかった	(HP・04年ラミン記載有)	○
秋山装飾(製造)	カーテンレール	扱いを止め	在庫無で停止	知る	第一商事/インドネシア	○
(以上カーテンレール)						
赤井(製造)	ステッキ	扱いを止め	停止済	(HP訂正忘れ)	—	◎停止済
シクロケア(製造)	手摺	扱いを止め	在庫無で停止	知らなかった	光モール	○
(以上介護用具)						
(以下その他)						
JAL(日航)	携帯用ブラシ	扱う	停止(今夏)	知らなかった	サミュゼ/聞いてない	◎即停止
ANA(全日空)	折たたみBed	扱いを止め	停止済購入無	知る(HP訂正)	(02年8月後購入停止)	◎即停止
ジェイテックス	マガジンラック	扱う	停止(4年12月)	知る	—	○
ハツ矢工業(製造)	自在ほうき等	扱いを止め	停止済み	知らなかった	—	◎停止済
浅香工業(製造)	レーキ(鍬など)	扱う	継続販売	知らなかった	西沢材木店/マレーシア	×売り続け
山貴屋	チェア販売	扱う	即停止	知らなかった	—インドネシア	◎即停止
ペルーナ	回転イス販売	扱ってない	(停止という事)	知らなかった	—(HPラミン記載2月迄有)	○停止済
水田(製造)	タペストリー	扱いを止め	即停止	知らなかった	現在無/聞いてない	◎即停止
羽立工業(製造)	groundゴルフ製造	扱う	在庫無で停止	知らなかった	外注工場/聞いてない	○
コールマンジャパン	塩シェーカー等	扱いを止め	停止済(2000)	知らなかった	—台湾	◎停止済





## ボルネオ島に行くの

### 原生林と先住民らの薬草を探

#### して(4)ブナン人の村へ～原生林へ

東 悪男

#### 《奥地の原生林で迎えた正月》

2003年正月、私はサラワク奥地のブナン人の村で迎えた。

昨日は教会で、夜半8時から2時まで延々と続く新年を祝う行事に参加した。今日、原生林へ行くのだ。

朝8時にドグもK氏も私も起きてきた。

「2、3日、原生林の森に寝るんだ。ハンティングもするし、いろんな薬草も見られる。何より素晴らしいのが、連なる原生林さ」とK氏。

昨日の野豚で朝食を終えて荷造りをしていたら、村のヘッドマン(村長)がやってきた。

「私も行く。」

村長が同行すると言ったから、エド、そしてエドの妻、エドの叔父、頑丈な体格のサダンと、若い娘も荷造りをしてやってきた。そればかりか犬も5匹もついてきた。

「ハンティングするのなら、困りもの」とドグ。村長は笑って、「さあ、行こう」と吹き矢を前に出す。出発。

一昨日来た道をとって返し、ケニヤ人の家々を過ぎる。先頭はドグ。私は2番目。

「今日行く森は、私が一番知っている所だ。森に米やコーヒーなど植えてある。この先、川が深くなっているの、エドが船を手配している。Kも一緒に船に乗ってくる」と、ドグが言う。

川幅が広くなり、2つの小川が合流した所へ



▲ 胃に良く スプルーイプアン

出た。なかなか船が来ないので、川原で私はうとうと寝ていた。

バシャバシャッと網を打つ音がしてきた。エドが魚取りしながらやってきた。

「小さいのが2匹だけ。ここはいない」とK氏。

エドは続けて投網を打つが、取れないので、船を川岸に着け、2回に分かれて船に乗る。

小さな小川を遡る。浅瀬に着いたので、船を乗りすてる。ジャージの上までビショビショだ。

渡渉する。粘土のような底に足を取られ、スリップした。「大丈夫か」とドグ。「OK」と私。

どのブナン人もそうだが、彼も大変優しい。

もう原生林の中に突入している。鬱蒼として木漏れ日が見える。近くで小鳥がさえずる。

5匹の犬は、私たちの前を行ったり、後ろを行ったり、森の横を進んだりしている。犬たちは私たちがハンティングするので、獲物を分けてもらえるというきたのだ。時折、「ワン、ウォン」「ウホーッ」「フォー、ワン、ワン」と鳴きながら踏み跡のないところを上る。

前に行くK氏が立ち止まる。

「これはスプルーイプアン(Suburui Puan)。見

たことがあるだろう。葉が胃に効く薬草。」

今度はドグと村長が葉っぱを引っ張る。

「これは違う薬草で胃腸に効く。ウダツ(Udat)という。根は高血圧に効く。後ろで村長が指差しているのがトボ・レニヤン(Tobo Renyang)で、眼が痛い時や充血した時に若い葉をあてると良い」と、ドグが説明する。

薬草の説明で、先頭のドグはゆっくり歩く。英語が話せるのは、ガイドK氏とドグのみだ。

「これはイポ(Ipoh)。吹き矢の矢毒だ。樹皮は、煎じると解熱剤やヘビの咬傷剤にもなる」とドグが続けて言う。また違う薬草を見つけたのだが、今度は首をかしげる。

「何という名前だったかなあ？」

村長は「レビウ(Levu)」という。さすがだ。

また小川をジャブジャブ歩き、ジャージはもう水浸しだ。ミリ市で買ったゴム長靴もだめだ。

薄暗い森を抜けると、突然太陽が差してきた。小屋が見えた。2つの高床式の小屋。山手の4つの小屋には米などの倉庫に使うとドグが説明する。午後3時半、到着。

### 《巨大な足の指》

「今日からここで寝泊りだ。ひよっとすれば、森の中に寝るかもしれないが、ここから上部が畑だ。その先は原生林が続く。」

「エッ、原生林の中に畑を作れるの？」と私。

「明日朝行けば判るよ」とドグ。

2人の女性もハンティングに付き添い、森で寝るのは久しぶりだそうだ。

少し夕食には早い。女性たちは米を洗いに行く。その下流で、私も含め男たちは水浴び。

清らかな川。冷たい水が心地よい。

ドグはすぐ終え、先にマンディ(水浴び)を終えたエドと狩猟に行く用意をしている。

気持ちよくなったか、それとも昨日遅くまで教

会行事に行き疲れたのか、K氏とサダンは小屋でうとうとした。森は静まり返っている。

村長は足を投げ出した。

私は目の前の、村長の《でかい足の指》をまじまじ見た。親指から小指まで、私の指の倍近い。私の足と村長の足の裏とを合わせた。女性たちが笑い出し、K氏やサダンも起き出す。

「カメラ、OK？」と、村長に聞く。

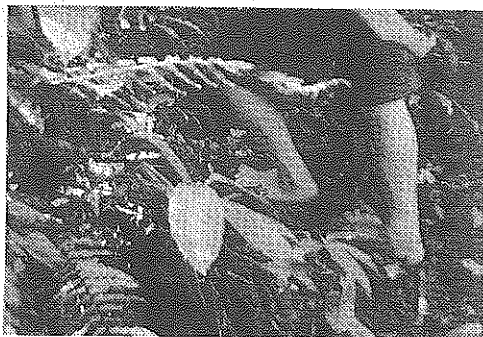
彼は変な顔をしていたが、ニコッと「OK。」

私は、パシャパシャとカメラで村長の足を撮る。一同、大笑い。いつも靴なしの裸足。再度、私は村長の足と合わす。もう大爆笑だ。

「この太い足指だから、プナンは足が強いのか」と通訳のK氏に聞いてもらう。

「足だけでない。皮膚も強い。頭も顔も強い。どこもかしこもプナンは強いのだ」と村長。大笑いが森じゅうに響く。

米が炊けた。おかずは小魚だけ。仕方ない。夕食だ。今夜はここで寝られる。しかし、ドグとエドは狩りに行ったままだった。



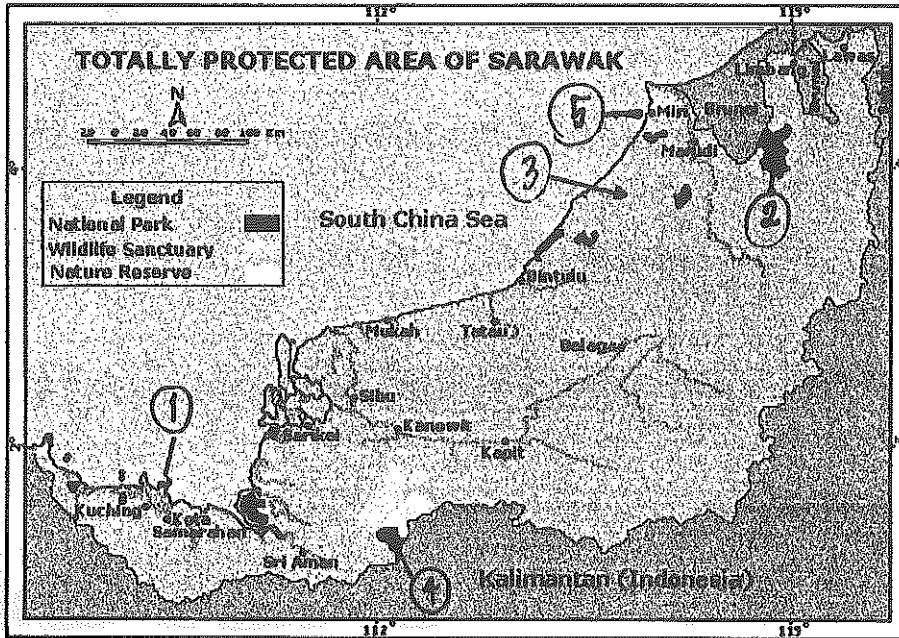
▲ プナンの足

## Kini ruan?(その1)

京都精華大学 佐久間 香子

### ●連載にあたって

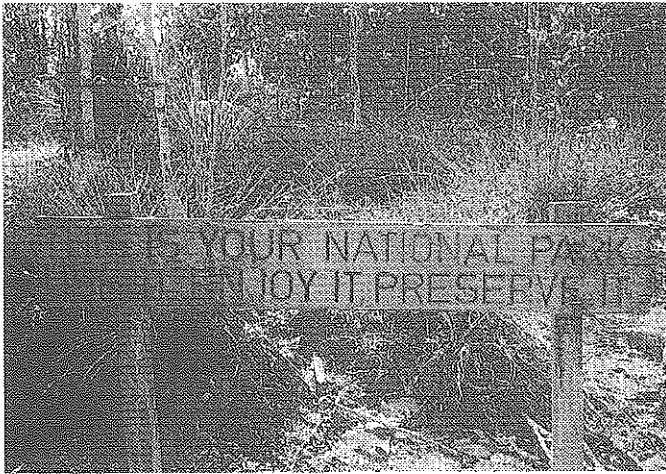
なんとも安易なタイトルをつけてしまいました。縁あって、今回から数回にわたって『森の通信 ウータン』に連載させていただくことになりました。サラワクとの縁なのか、ウータンとの縁なのか、どちらにしる“腐れ縁”のようです。ここで連載する記事(というほどのモノではありませんが)は主に、私の約2ヶ月間のサラワク滞在を元にしたものです。3年次の後期丸ごと、学生自身が関心をよせる事柄の調査(及び報告書作成)にあててよい、という大学の粋なプログラムに飛びつき、昨年の8月末に日本を離れ、ミリ(Miri: 地図⑥)で入院して11月初頭に無念の帰国をするまで、「現地調査」という大義名分を掲げてサラワクの国立公園をみてまわりました(地図で示した①~④の国立公園です)。



出典: Totally Protected Area Of Sarawak, Forest Department Sarawak Homepage,

なぜ国立公園なのか。今回私が試みたのは、「先住民族」と「観光(主にエコツーリズム)」との関係を中心とした視座から、サラワクという地域を見つめなおす作業でした。となると、どうやら、この作業を材料にして書き進める本稿において、最初にその背景を説明しておく必要がありそうです。以下、説明に入りますので少々お付き合いください。

本誌の読者の方々は、サラワクをはじめとする東南アジアの熱帯雨林(それ以外にも南米やアフリカなど)、違法伐採、いわゆる「先住民族運動」、人権問題、あるいは地球温暖化などの地球環境問題など多岐にわたって関心をよせられている方も多いと思います(したがって、「そんなことは知っている」と思われることをもっともらしく書くことがあります、ご容赦ください)。少々強引な言い方をすれば、ここでざっと上げた諸問題は押しなべて、サラワクに内在し



◀ バコ国立公園内にある看板  
 ツーリストに注意を呼びかける  
 (2003.9月)

バコ国立公園の  
 マングローブ林。  
 夕方になると、  
 テングザルが観察  
 できる。



ているといえます。サラワクでは主立ったものとして、違法伐採やオランウータンなどの野生動植物の違法貿易、ダム、プランテーション、リゾートなどの大型開発、そして、それらと不可分な先住民慣習権 (NCR=Native Customary Rights) や先住民慣習地 (NCLand)、環境人種差別 (environmental racism、※1) に関する問題などがあります。

誌面に限りがあるので詳しく書くことはできませんが(※2)、これらは一様に広く知られ、国内外の多くの環境 NGO やメディアによって非難の対象にもなってきました。世界一の熱帯材の輸入・消費国である日本の国内においても、例外ではなく非難の声はあります。ですが、こうした日本に輸入・消費される熱帯材が、私たちの生活の中に深く浸透しているにも関わらず(※3)、そうした意識が「実際の消費の場」=日常生活においては希薄なのが現状です (学者や研究者の方々の豊富な知識は、こういう場においてこそ意味を持つのです)。

今回の調査は、こうした一連の日本による熱帯材 (この場合、サラワク) の消費活動には観光も含めて考える必要があるのでは、感じたことから始まりました。観光も「消費」の一形態なのです。そうしたとき、熱帯雨林とそこに生息する動植物、あるいはそこに住む先住民族の人々を“資源”とするサラワクのエコツーリズムの現状を知ることは、展望を考察する前の不可避な作業としてとらえることができます。そして、そのエコツーリズムの主な舞台が「国立公園」なのです。

### サラワクの国立公園設立年表

公園名	設置年	面積
バコ国立公園, Bako National Park [地図①]	1957	2,727ha
グヌン・ムル国立公園, Gunung Mulu National Park [地図②]	1974	52,866ha
ニア国立公園, Niah National Park [地図③]	1974	3,140ha
ランビル・ヒルズ国立公園, Lambir Hills National Park	1975	6,952ha
シミラジャウ国立公園, Similajau National Park	1978	7,067ha
グヌン・ガディン国立公園, Gunung Gading National Park	1983	4,106ha
クバ国立公園, Kubah National Park	1989	2,230ha
ロアガン・バヌ国立公園, Loagan Bunut National Park	1991	10,736ha
バタン・アイ国立公園, Batang Ai National Park [地図④]	1991	24,040ha
タンジュン・ダトゥ国立公園, Tanjung Datu National Park	1994	1,379ha
タラン・サタン国立公園, Talang-Satang National Park	1999	19,414ha
ブキツ・ティバン国立公園, Bukit Tiban National Park	2000	8,000ha
マルダム・マングローヴス国立公園, Maludam Mangroves National Park	2000	43,147ha
ラジャン・マングローヴス国立公園, Rajang Mangroves National Park	2000	9,374ha
グヌン・ブダ国立公園, Gunung Buda National Park	2001	6,235ha

出典：Totally Protected Area (TPA), Forest Department Sarawak,

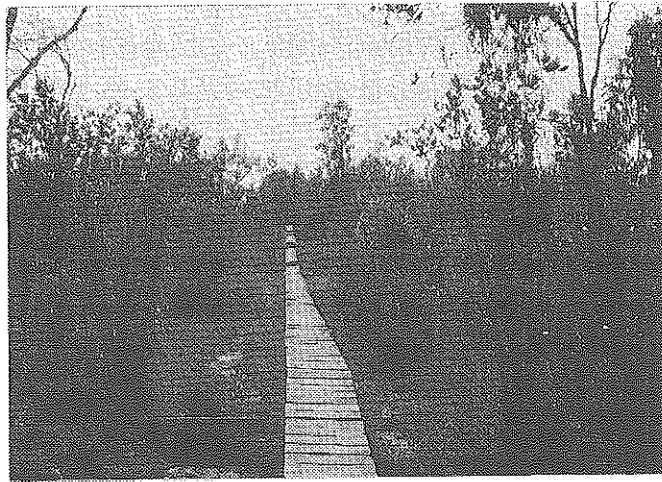
<http://www.forestry.sarawak.gov.my/forweb/np/np/map1.htm> (2004/06 閲覧)

#### ●サラワクの国立公園とエコツーリズム

エコツーリズムという観光形態の誕生は、19世紀半ばに発達したマスツーリズム (mass tourism) の諸反省に依拠します (※4)。一度に大量の人間が観光地に送り込まれるマスツーリズムとマスツーリズム開発は、観光地とその周辺の環境や住人に多大な悪影響を及ぼしました。その反省として、1980年代後半、マスツーリズムに代わってエコツーリズムをはじめ、一連の「オルタナティブツーリズム」や「持続可能な観光」と呼ばれる観光諸形態が出現しました (※5)。こうして誕生したエコツーリズムですが、実は、現在にいたってもこれといった決定的な定義はありません。一説には、その定義は数百もあるそうです。

それでは、エコツーリズムに関する概念的な“うんちく”はここまでにして、再びサラワクについて述べていきます。先述しましたとおり、サラワクのエコツーリズムの主な現場は国立公園です。まず「国立公園」という制度ですが、これは「輸入モノ」の思想です。非常に大雑把に、この思想がサラワクに適用されるようになった背景を述べると次のようになります。

1872年のアメリカに誕生した世界で最初の国立公園(イエローストーン国立公園)が誕生し、イギリスがそれに続けと言わんばかりに輸入しました。ですが、アメリカと違って国土面



◀ バコ国立公園  
のトレイル、  
(2003.9月)

積の狭いイギリスは本国ではなく、植民地支配していた国々に次々と設置しました。ご存知のとおり、サラワクはマレーシア領であり、マレーシアは元・イギリスの植民地でした。1956年、具体的に「国立公園法」が施行され、サラワクで最初に設置された国立公園がバコ国立公園（1957年設置：地図①）というわけです。

サラワクの国立公園は、森林伐採ととても親密な関係があります。19世紀のイギリス人探検家ジェームス・ブルックとその子孫によるブルック王朝以来、サラワクの森は伐採され続け、1980年代にピークを迎えました。奥野克己（2003）によると、サラワクの森林資源は商業伐採（あるいは違法伐採）によって年々その数は減り、特に伐採の激しかった1963年から1985年の間に、州の全森林面積の30%にあたる282万ha（琵琶湖の約42倍）を失ったといわれています（※6）。伐採された土地は、さらに（適している土地に限り）アブラヤシなどの巨大プランテーションに転用される（つまり皆伐される）ことになり、森林の再生が不可能になるまで収奪されます。

こうした伐採などの一連の破壊活動から、熱帯雨林（と生態資源）を「保護」するために保護区の設置が提唱されました。現在では15の国立公園、3つの野生動物保護区、2つの野生動物センターが設けられています。上記の表が示すとおり、サラワクの国立公園は90年代にはいって、急に次々と設置されています。一方で、国立公園それぞれの面積にも注目して下さい。どれもこれも先述の伐採された面積の数字に対して（比べるほうがおかしいのかもしれませんが）まさに“ケタ違い”に小さな数字が並んでいることがわかります。地図で見るとよりイメージし易いかと思いますが、まるで“点”です。保護というにはあまりにもお粗末です。

では、保護以外の理由で国立公園が設置される背景には、どういふことがあるのかというと、ここでやっとエコツーリズムの登場になるわけです。80年代、サラワクでは伐採がピークを迎えているところというのは、世界的に地球環境問題に対する関心が高まったころでもありました。サラワクにおいて、木材産業は石油・LNG（天然ガス）同様、外貨獲得のための主要産業です。しかし、伐採を阻止するために道路封鎖をするプナンの人々の姿が日本を含む世界各国で報道されたこともあり、サラワクの森林伐採の惨状は広く知られる

ことになり、環境保護あるいは環境保全(※7)を唱える人々や環境 NGO から攻撃的とされました。これにより州政府は、森林伐採でもプランテーションでもない外貨獲得の道を早急に創出する必要があったのです。

保護の観点からみれば、“点”のようにしか存在しない保護エリアが拡大することは歓迎されるべきことがらですが、木材産業へ批難回避の結果、新たな外貨獲得策としてエコツーリズムを導入したサラワクにおいて、こうした国立公園の拡大は同時に、観光産業の拡大を意味します。このことを踏まえると、単純に拡大を歓迎することはできません。「観光開発=悪」と言っているわけではありません。ですが、1つ目のパラグラフで述べたような諸問題、とくに先住民慣習権(地)の問題などが解決されたわけではないですし、またこれにより改善へ向かうといった兆しもありません。むしろ、「エコツーリズム」という口あたりのいい言葉によって、これらの問題はますます見えにくい「周辺」へと追いやられることになるのです。

次回から、各国立公園の具体的事例を挙げてその現状をお伝えします。乞うご期待。

#### \* 注 \*

- ※1 有害廃棄物などの「豊かさの残骸」やそれらによる環境汚染の問題が、先住民族や少数民族などのマイノリティが住む地域に集中して影響が及ぶことを言います。
- ※2 ここで書くことのできなかつた詳細については、佐久間香子(2003)『国立公園におけるエコツーリズムと先住民族—ボルネオ・サラワク州における現状と展望—』をご覧ください(この記事の内容と重複しています)。京都精華大学ウェブサイトから閲覧可能です。 調査演習(2003):京都精華大学環境社会学科 <http://www.kyoto-seika.ac.jp/jinbun/kankyo/class/2003/research/index.html>。
- ※3 詳しくは以下の資料をご覧ください。たくさんあるので、比較的読み易い資料のみ挙げました。
  - ・ サラワクキャンペーン委員会(SCC)のニュースレター(No.23, 26, 28, 29, 35, 39)。SCCのウェブサイト <http://www1.kiwi-us.com/~scc/> から閲覧可能です。
  - ・ サラワクキャンペーン委員会ほか編(2002)『アブラヤシ・プランテーション 開発の影—インドネシアとマレーシアで何が起きているのか—』日本インドネシア NGO ネットワーク(JANND)。
- ※4 詳細は、吉見俊哉(1996)「観光の誕生」、山下晋司編『観光人類学』新曜社、p.24-34参照。
- ※5 こうした観光諸形態の概念区分は、かならずしも明確にされているとは言えません。それはサラワクにおいても同様です。佐藤幸男は「持続可能な開発」論を再検討し、エコツーリズムの概念について論じています。佐藤幸男(2003)「観光開発と文化をめぐる政治経済学」、橋本和也、佐藤幸男編『観光開発と文化—南からの問いかけ』世界思想社、p.27-31参照。
- ※6 奥野克己(2002)「資源化される森—マレーシア・サラワク州の熱帯雨林の傾有をめぐる歴史と現状」『奥野克己ウェブサイト』、<http://www2.obirin.ac.jp/~okuno/sarawak.html>。
- ※7 「保護(=保存)」と「保全」は混同して使用されがちですが、それぞれの論理は違っています。森岡(1999)の言葉をかりると、「自然のために自然を守る」のが保存、「人間のために自然を守る」のが保全、ということになります。詳しくは、森岡正博(1999)「自然を保護することと人間を保護すること—「保全」と「保存」の4つの領域」、鬼頭秀一編『環境の豊かさをもとめて 理念と運動』参照。
- ※※ タイトルの“kini nuan?”(イバン語)は、「どこ行くの?」という意味です。



【オランダ、マレーシアと違法木貿易対策合意】

2月20日、生物多様性条約会議中、オランダ Van Geel 国務大臣は【マレーシアと違法木材貿易対策合意】と発表。オランダは、木材認証制度の実施可能性テストのため、マレーシアで実施計画と。同大臣は「違法貿易と闘うためにはEU全体での取組みが有効。EU議長国のオランダは、EU違法木材貿易削減行動計画を実施に向けて取組む」と。(EIC ニュースより)

【インドネシア違法伐採犯罪に死刑法案検討】

4月インドネシア政府は、近く違法伐採犯罪に対し、死刑を含む厳罰法案を発表予定。「違法伐採の全面停止は、厳罰しかない」との意見が多数を占め、林業省のもとに軍、警察、司法のトップが参加し、[森林犯罪委員会設置]と関係筋。法案は、「伐採許可無いままに伐採関与者は3-10年禁固刑または30-100億ルピア(35万-120万ドル)、違法伐採の組織的な指導者には終身刑か死刑にする」と。大統領選もあり難航?

(日刊木材新聞 4/16、ジャカルタポストより)

【熱帯材丸太、製材品輸入、昨年比12%減】

2003年熱帯材等輸入は、サラワクから112万m<sup>3</sup>(約2割減)、パプア産は41万m<sup>3</sup>(1%減)、サバ材は15万m<sup>3</sup>などで、計172万m<sup>3</sup>。アフリカ材12万m<sup>3</sup>で総計184万m<sup>3</sup>(昨年比12%減少)。ピーク時1973年の2695万m<sup>3</sup>からは6.8%の規模に縮小。製材品はインドネシア36万m<sup>3</sup>、マレーシア材21万m<sup>3</sup>、総計49万m<sup>3</sup>と、昨年比11%の減少。激減は違法材、枯渇問題絡み。

丸太全体はロシア材が40%を占め511万m<sup>3</sup>と2%増、北米材383万m<sup>3</sup>で、1264万m<sup>3</sup>が総量。

(日刊木材新聞3/10、4/16より)

熱帯材丸太と南洋材製材品の入荷推移

単位：m<sup>3</sup>

年	熱帯材丸太		計	南洋材製
	南洋材	アフリカ材		
1998	3,192,231	152,672	3,344,903	776,896
99	3,403,726	202,009	3,605,735	921,764
2000	3,033,952	230,684	3,264,636	973,401
01	1,999,655	224,837	2,224,492	877,577
02	1,981,510	111,089	2,092,599	816,489
03	1,717,014	120,247	1,837,261	786,385

【違法材排除へ道県産材の産地表示相次ぐ】

3月北海道は、新年度から道産材表示委員会設置し、産地表示システムを確立と表明した。

鹿児島県は産地出荷証明する【かごしま材】認証制度を4月から発足。佐賀県も【認証制度】を設置し県産認証材50%使用に資金負担軽減。長崎県も【長崎県産材認証】を推進する。福岡県は、14年度に【認証制度】導入し官公需要対策としてさらに推進。熊本県も【県産認定材利用】を推進、島根県も4月から【県産認証材】認定開始する。その他静岡県、岐阜県、群馬県、埼玉県で【県産材認定利用】が始まっている。

岩手県も【県産材産地証明制度】説明会を5月から実施(公取委員会からクレームで一度中止、ウータンも同県と話し、推進進めうれしい)。

秋田県は【秋田杉ブランド】へ産地、樹齢記すシールを5月から貼り、産地地消から拡大策だ。

前回『通信ウータン』71号記載のように、各県が「道県産材認証制度」へ向き、国産の持続可能材は違法材排除の方向をも示してきた。

(ウータン集計、日刊木材新聞 3/9、4/13、5/14)

【京都府、地場間伐材合板生産開始】

1昨年、ウータンの【原生林保全ツアー】で報告済の京都府は、林ベニヤ産業の依頼もあり、京都府産のスキ間伐材生産を始めた。月間使用量170m<sup>3</sup>からで、最近案では1千m<sup>3</sup>まで増加予定。同府の熱帯材利用は現在3%をまだ削減へ。

(ウータン 66号、木材新聞 4/16より)

【全木連、ラベリング制度を本年発足】

5月11日、全木連は総会を開催し、木材製品ラベリング制度を16年度から実施。木製品の樹種、原産地、生産者の情報を表示する試みだ。消費者の視点に立ち木材利用推進を目指すとし、違法材対策をも実施する方向はすばらしい。

(日刊木材新聞 5/13より)

【財務省、熱帯材輸入関税大引き下げ】

フタバガキ科製材6%から3.6%に、合板用単板を5%から3%に、集成材等は15.2%が3.6%に引き下げ。中国台頭策で。(財務 HP 等)

## 「イラク人質事件」で思うこと

牛田 等 (ウータン・スタッフ)

こないだ、イラクで一時拘束された安田純平さんと渡辺修孝さんの講演を、相次いで聞く機会を得た。安田さんは京都でのピースウォーク関連企画、渡辺さんは大阪の反戦集会での講演だった。テレビでは伝えられることのないような、イラクの現状とかサマワの自衛隊の問題について、それぞれのスタンスで、たっぷり伺うことができた。お二人とも、今のイラクの現実を伝えたいという意欲に、満ち溢れている。

その前にイラクで拘束された三人の方々は、日本国内で、本当にひどいバッシングや嫌がらせを受けたよね。三人は、深く傷ついた。だが、困難な状況に置かれた地域では、だからこそ、NGOの活動が必要とされる。また、そういうところに手を差し伸べるというのが、「ボランティア」の役割じゃないか。高遠菜穂子さんがバグダッドでストリート・チルドレンのお母さん代わりにしていたなんて、とても素敵なことだと思う。三人は“自己責任”を声高に追及されたが、はっきり言って、それは非難のための非難でしかなかった。

そもそもイラクという地を分捕ろうとして戦争を仕掛け、占領支配したアメリカと、そのアメリカを一貫して支持し、自衛隊を送って加担する日本政府こそが、問われなければならない。ファルージャでは、市民が何百人と米軍に殺された。問われるべきは、誰なのか？

「人質事件」で起きたバッシングは、政権側が火をつけ、さらには煽った。日本の国家主義的な改編を推進する小泉政権にとって、平和主義を地で行くような活動をするNGOなどは、“国益”と対立する存在と映るのだろう。改憲を狙う官邸が、こういうNGO等の社会的影響力をそいでおこうとして、人質事件を利用したと考えられる。今後、NGO等の海外活動に対する、政府の姿勢が悪化するかも知れない。だが、ボランティアやNGO活動をする人材をたくさん輩出する国である方が、よっぽど“国益”だと思わないか？ もう一つ今回見えたこと。政府が流す情報に、そのまま乗っかってしまったテレビなどのメディア、そのメディアに煽られるままに煽られた一般市民・・・という構図だ。政府のプロパガンダに簡単に乗せられかねない世間の危うさを、今回まざまざと見せつけられた。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆  
お知らせ・・・安田さんと渡辺さんの本が緊急出版されています。

★囚われのイラク 混迷の「戦後復興」

安田純平・著 ◎現代人文社 [¥1,500+税]

★戦場イラクからのメール レジスタンスに「誘拐」された三日間

渡辺修孝・著 ◎社会批評社 [¥1,600+税]

# NUTAN 7/1の便りから...

会計：藤村はるえ

《会費、カンパを頂いた方々》(2004年3月27日～2004年6月8日) (敬称略)

飯高輝 伊東万千子 上田広子 馬橋憲男 トム・エスキルセン 大東弘 大西裕子 大平浩子  
尾形祥子 鎌木里子 倉友克美 田中亚子 田村節子 千代延明憲 恒成和子 寺川庄藤 中院  
彰子 橋本征二 自敬寺・服部隆志 平野誠 本領宏子 柳下恵子 山田光一 明風正和  
《切手カンパ》市井春也様 烟章夫様 (ありがとうございました)

《お便りから》(敬称略)

☆成果をあげていますネ。とても大切な運動です。「燃えつきませんよう」お願いします。

4/5 (馬橋憲男)

☆違法伐採木不使用、熱帯材削減等、一貫したねばり強い取組みの継続に敬意を表します。

「大阪ごみを考える会」もみなさんの活動を見習い、新たな気持ちで頑張っていきたいと考えます。

4/5 (千代延明憲)

前号で抜けていました「森の救援基金2003年度決算」を報告します。

収入		支出	
前年度繰越金	913,032	ブナン人病院建設支援	30,000
カンパ	16,000	ブナン人裁判支援金	30,000
計	¥929,032	インドネシア水害支援	30,000
		Balu・Bian弁護士旅費	10,000
		Telapak宿泊費	7,000
2004年度へ繰越	¥822,032	計	¥107,000

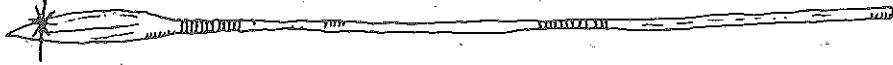
## BOOK 紹介!

### 『愛してるって、どう言うの?』 高遠菜穂子 文芸社

人質事件では、たくさんの人々が、メールなどで、彼らがイラクのために努力していることをイラクに伝え、3人は無事解放された。が、ショックだったのは、政府の『自作自演』説や「自己責任」論にのったバッシングの嵐だった。

この本は、高遠さんのホームページで公開された日記をまとめて、2000年に出版された。読めば、彼女がなぜ、イラクに行かずにいられなかったかわかる。インドの孤児たち、西インドの地震に駆けつけ、つらい思いをしながら救援活動したこと、祭で踊りまくったこと、友人やペットの死。インド式トイレの仕方 などなど。自作自演などという言葉から、もっとも遠いところにいるのは確かだ。 (INO)

# HUTAN ACTION SCHEDULE



7月17日(土) Pm 6:00~8:45  
資料代 500円

～ 国立公園と先住民族～

## 『エコ・ツアーで行くポルネオ・サラワク』

◆報告: 佐久間香子、細川弘明(京都精華大教員)

はたして、サラワクで実施されている“エコツアー”は、先住民族の人々の現状を直接的・間接的に改善に導く“起爆剤”になりえるのでしょうか?それとも従来の強引な開発の延長でしかないのでしょうか?昨年、約2ヶ月間のサラワク滞在中に訪れることのできた国立公園を舞台に、先住民族の人々にスポットをあてて考えていきたいと思ひます。

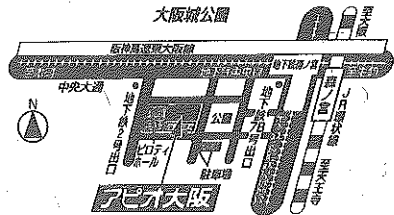
※ 報告書のHPで可 → [kyoto-seika.ac.jp/jinbun/kankyo/class/2003](http://kyoto-seika.ac.jp/jinbun/kankyo/class/2003)  
参照…… (京都精華大学人文学部環境社会学科調査演習2003)



▶ 場所

**アピオ大阪** ☎06-6941-6330

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-17-5(市立労働会館)



➔ 8月下旬か9月上旬予定 「塗法材・ラミン材停止報告会」  
ゲスト/Telapak (インドネシア NGO) など予定。

— おわび —

ウータンからのお知らせ

のメドがつき、かなり上手くいくはずと思ひます。深く、深くお詫びします。すみません。(Y)

前回 HP 変更と記載しましたが、【ラミン停止企業キャンペーン】の都合で直ぐ消しました。見れなくなり、会員の方よりお叱り。新HPは8月再度、立ち上げ予定。その頃【企業キャンペーン】



## ウータン・森と生活を考える会



【OFFICE】〒530-0015 大阪市北区中崎西1-6-36

サクラビル新館308

「関西市民連合」気付

(HP)

[www.005.upp.so-net.ne.jp/hutan/](http://www.005.upp.so-net.ne.jp/hutan/) Tel.06-6372-1561

【一部】300円 【年会費】4000円

【郵便振替】00930-4-3880

◎購読希望の方は郵便振替で申し込み下さるか、又事務所までご連絡下さい。

◎ウータン定例会は、毎月、第2、第4火曜日7:00pmより「関西市民連合」事務所にて行っております。